

本時の目標

エネルギーを大切にすることを理解し、身近なエコな方法を五七五で表現する。

指導のポイント

ワークシートにより学習を進めるが、拡大して掲示(プロジェクターによる投影等)することが効果的。
エコチェックは批判ではなく、エコな生活に気づかせることを目的とする。

本時の展開

	学習内容・活動	指導上の留意点および支援の工夫
導入 10分	<p>1. 本時の授業の確認</p> <p>今と昔の暮らし</p> <p>※仕事や交通、生活の様子や子どもの遊びなどを比べる。</p>	<p>※ ○は教師発問</p> <p>○今日は、身近にできるエコな方法について学習します。</p> <p>○ワークシートを配ります。今と昔の暮らしをあらわした図がありますので、これまで学習してきたエネルギーに注目して、今と昔の違いを探してください。</p> <p>(シートに記入、2分後に答え合わせ)</p>
	<p>今は昔に比べて多くのエネルギーを使用している</p>	<p>※ 板書・掲示</p>
展開 25分	<p>2. ムダ家族とエコ家族</p> <p>(1) ムダ家族とエコ家族を比べてちがいを探す。</p> <p>(2) 班対抗など、1つずつ答えを確認する。</p>	<p>○ワークシートの裏側を見てください。ムダ家族とエコ家族のイラストがあります。</p> <p>どちらがエコ家族かわかりますか。</p> <p>ムダ家族のムダな部分に△、エコ家族のエコな部分に○印をつけてください。このイラストの季節は冬です。(2分間)</p> <p>※拡大コピー、プロジェクター等に投影</p>
	<p>生活を工夫することによりエネルギーを少なくできる</p>	<p>※ 板書・掲示</p>
	<p>3. エコチェック</p> <p>ワークシート エコチェックを行う。</p>	<p>○次のワークシートにあるエコチェックをしてください。</p> <p>あてはまると思うものに○、そうでないと思うものには×をつけてください。使っていないものや家にはないものは○になります。(2分間)</p> <p>○いくつ○がついたでしょうか。8個以上の人は手をあげてください。チェックできた数が少なかった人は、エコな生活のためにできることを始めてください。</p>
	<p>4. エコ川柳(エコライフ宣言)</p> <p>(1) 各自ができるエコ活動を川柳であらわす。</p> <p>(2) エコ川柳を発表する。</p>	<p>○環境学習のまとめとして、エコ川柳をよんでみます。短冊(ワークシート)にエコな生活や行動を五七五で表現して書いてください。(5分間)</p>
確認 10分	<p>5. まとめ</p>	<p>○ここまで行ってきた環境学習で伝えたかったことは…</p> <p>※ここまでの環境学習をとおして、印象に残っていることは何ですか…(解答の中から、次の3つを導きたい。)</p>
	<p>1. 化石燃料は便利であるが、CO₂を排出し地球温暖化の原因</p> <p>2. 山梨県はCO₂ゼロやまなしを目標に新エネと省エネを計画</p> <p>3. やまなしの未来のために身近なエコを実行していくことが大切</p> <p>→ けいぞくは力(エネルギー)なり!!!</p>	<p>※エコ川柳は教室や廊下に掲示する</p>